

ロボット産業の振興に向けて

For The Future

北九州市との連携強化

このたび、北九州市と当社は、ロボット産業の振興に向けた取り組みを中心に協議を行いました。その内容をもとに、市と当社が今まで以上に密接な連携を将来に向かって築き、北九州市がロボット産業の一大集積地としていくために、両者間で連携を強化することで合意に至りました。

6月6日、北九州市役所で、末吉興一北九州市長、当社利島社長がそろって出席、両者の関係者も同席しての記者発表が行われました。席上、末吉市長、利島社長が合意書にサインした後、両者から今回の合意に至った経緯の説明、報道各社との質疑応答が行われました。

今年3月に発足した「北九州ロボットフォーラム」には多くの企業、大学、行政機関が参加しており、この運営を核に、また市と当社で今後協議を継続しながら、今回の合意内容の早期具体化を図ってまいります。



合意書にサインする
末吉興一北九州市長(右)
と当社利島社長(左)

合意内容

ロボット産業の振興について

北九州市が今後進めていくロボット産業の振興において、

- 1 次世代サービスロボットビジネスの創出に向けた連携強化
- 2 ロボット技術者の育成強化
- 3 ロボット産業振興策の拡大

について、将来に向かって北九州市・(株)安川電機双方が連携して進めていくものとする。

■お問合せ先: 人事総務部 総務・法務グループ
Tel 093-645-8801 Fax 093-631-8837

陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/index.htm> で公開しています。

企業の第一四半期、長距離選手は5000m、10000mなどのトラックレースでスピードに磨きをかけます。

春先にクロスカントリーで活躍した小畑、飛松両選手は、そのまま好調を維持してトラックでもエースの貫禄を見せました。特に九州実業団陸上の10000mでは、ハイペースで先行するアフリカ人選手に食いつき、ラスト勝負まで持ち込むという粘りで自己記録を大幅更新しました。また、若手の福島、友野選手たちも積極的なレース展開で、上位入賞、自己新記録

を達成しました。更に福島選手は日本選手権で1500mに出場し、自己記録を大幅更新して、持ち前のスピードに持続力がついてきたところを見せました。



▲九州実業団陸上10000mで力走する
小畑選手(57)、飛松選手(58)、立石選手(62)

◀力走する若手友野選手

このようにエースと若手の両輪が成長を見せてトラックシーズンを終えたことで、駅伝シーズンに期待を感じさせてくれます。今後も安川電機陸上部の応援をお願いします。

選手の声:

1500m、5000mと自己記録を更新しましたが、目標にしていた記録にわずかに届かず正直悔しいです。今後は、この夏にしっかり練習を積み、駅伝メンバー入りを目標に頑張ります。

(友野 彰文)

◆2006年4月～6月の主な戦績

日程	大会名	種目	実績
4月16日	西日本記録会	5000m	飛松選手1位、福島選手自己新記録
4月29日	豊津陸上記録会	5000m	坂本選手1位、植田選手自己新記録
4月29日	春季延岡記録会	5000m	飛松選手自己新記録
5月3、4日	福岡県選手権	1500m	久保田、友野、植田選手自己新記録
5月3日	春季延岡記録会	10000m	飛松選手1位(自己新記録)
5月13、14日	九州実業団陸上	J1500m	友野選手3位
		10000m	小畑選手3位、飛松選手5位(ともに自己新記録)
6月3日	鞘ヶ谷記録会	5000m	ウイリー選手2位、友野選手自己新記録
6月30日	日本選手権	1500m	福島選手自己新記録
		5000m	小畑選手13位